

みずほCustomer Desk Report 2019/12/04 号(As of 2019/12/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.16
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.02	1.1076	120.72	1.2936	0.6818
SYD-NY High	109.21	1.1094	120.96	1.3014	0.6862
SYD-NY Low	108.49	1.1066	120.25	1.2932	0.6815
NY 5:00 PM	108.64	1.1081	120.36	1.2998	0.6848
NY DOW	27,502.81	▲ 280.23	日本2年債	-0.150	2.00bp
NASDAQ	8,520.64	▲ 47.34	日本10年債	-0.030	2.00bp
S&P	3,093.20	▲ 20.67	米国2年債	1.5410	▲ 6.20bp
日経平均	23,379.81	▲ 149.69	米国5年債	1.5433	▲ 10.00bp
TOPIX	1,706.73	▲ 7.76	米国10年債	1.7166	▲ 10.50bp
シカゴ日経先物	23,135.00	▲ 80.00	独10年債	-0.3510	▲ 6.95bp
ロンドンFT	7,158.76	▲ 127.18	英10年債	0.6665	▲ 7.15bp
DAX	12,989.29	24.61	豪10年債	1.1305	5.60bp
ハンセン指数	26,391.30	▲ 53.42	USDJPY 1M Vol	5.50	0.63%
上海総合	2,884.70	8.89	USDJPY 3M Vol	5.70	0.38%
NY金	1,484.40	15.20	USDJPY 6M Vol	6.15	0.25%
WTI	56.10	0.14	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	177.59	0.47	EURJPY 3M Vol	5.90	0.20%
ドルインデックス	97.73	▲ 0.13	EURJPY 6M Vol	6.38	0.18%

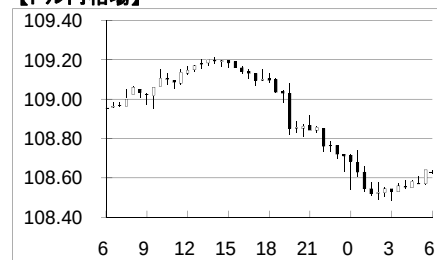
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月3日	19:00	欧 PPI(前年比)	10月 -1.9%	-1.8%
12月3日	米	米トランプ大統領 発言	「米中合意は2020年の米大統領選後まで待った方がいいかもしれない」	
12月4日	02:30	欧 クーレ ECB 専務理事 講演	-	-

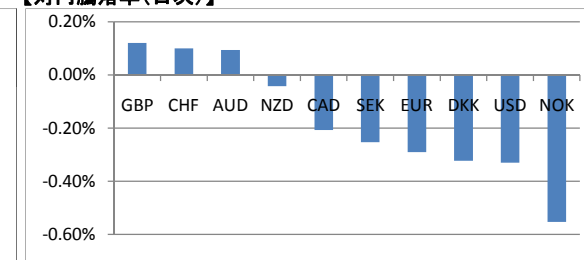
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月4日	22:15	米 ADP雇用統計	11月 135k	125k
12月5日	00:00	米 ISM非製造業指数	11月 54.5	54.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 OPECプラスの協調減産の行方に注目

10月上旬からのドル円の上昇要因の一つとして原油相場の底堅い推移があげられる。しかし、先月末の米エネルギー情報局(EIA)が発表した統計で原油相場が急落すると、ドル円も反落。EIAによると米国の9月の原油・石油関連製品の輸出量が輸入量を上回り、統計開始(1973年)以来初めて石油純輸出国となったことで、原油相場の供給過剰見通しが強まったことが背景である。

主要産油国は5日に減産の状況を確認する監視委員会を開催する他、同日にOPEC総会、翌6日にロシア等非加盟国を含むOPECプラスを開催する。本会合では現在、20年3月末までの減産協調の枠組みを20年6月末まで3ヵ月延長する案を協議する見込みである。特にサウジアラビアは国営石油会社サウジアラムコの新規株式公開を抑え原油価格を高めたい思惑から、減産幅拡大の根回しにも動いており、本会合の決定による原油相場の動向には注目したい。ただ、OPECの協調減産枠外の米国がシェールオイルを増産し続けると、20年前半には供給過剰になるとも言われ、例えば本会合で協調減産延期が合意されても原油相場の反発力は弱いものかもしれない。逆に減産に前向きな内容が無かった場合の更なる原油相場の下落によるインフレ期待剥落には警戒したい。

東京	109.02レベルでオープンしたドル円は小幅ながら堅調な推移。仲値にかけた実需買いを中心にじりじりと上昇。午後には109.21まで上昇した。その後も堅調な展開が続き109.16レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.16レベルでオープン、ロンドン時間朝方に米トランプ大統領から「米中合意は2020年の米大統領選後まで待った方がいいかもしれない」といった発言を受けて、米中貿易合意への期待が剥落したことから円買い優勢となり、108.73まで下落。その後も地合いは変わらず108.76レベルでNYへ渡った。ボットドルは、1.2943でオープン、英総選挙まで10日を切る中、依然として保守党優勢な状況等が好感され、1.3007まで買われる。その後は心理的節目である1.30を意識しながら揉み合う展開となり、1.3006でNY渡った。
ニューヨーク	ドル円は108.76レベルでNYオープン。特段の米経済指標発表が予定されていない中、朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、下値模索の展開となる。「米政府は12月15日の対中関税発動を変更しない」との報道が伝わると108.54まで下落。その後、108.74まで反発する場面もあったが、トランプ大統領の「中国との貿易を巡り、米国にとって「対等な合意」だけでは不十分」との発言に、リスクオフの円買いが再び強まり、米金利の低下幅拡大とともに、108.49まで安値を更新。50日移動平均線がサポートとして意識され、午後はこの水準で下げ止まるが、米株や米金利の戻りが鈍い中、安値圏での推移が続く。終盤にかけて、小幅値を戻し、108.64でクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、先述のトランプ大統領の発言を受けて下落したユーロ円に連れ安となり、1.1066まで下落。売り一巡後、小幅に値を戻し、1.1073でNYオープン。朝方は、米金利の低下を受けて、ドル売りが強まり、高値1.1094まで上昇する。午後は節目の1.1100をうかがう展開となるが、ユーロ買いの手掛かり材料が乏しい中、戻り売りに押され、1.1080近辺まで反落する。終盤は小動きとなり、結局、1.1081でクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大庭・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
フル	ペア	フル	フル	ペア	フル	ペア	フル	フル	フル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
フル	ペア	フル	フル	フル	ペア	フル	フル	ペア	ペア

フル	ペア
13	7